

チャレンジ Excel マクロ (その 6 : 印刷の制御)

今回はマクロから印刷プレビューや印刷を指示するマクロについて学習します。

1 . 印刷を制御する基本的な文

(1) 直ちに印刷する

ツールバーの「印刷」ボタンをクリックするのと同様に、ダイアログボックスを出さずに直ちに印刷をしたい場合は次の様に記述します。

```
Sub PrintSample()  
    Worksheets("Sheet1").PrintOut  
End Sub
```

(2) 印刷ダイアログを表示する

ファイルメニューから「印刷」を選択するのと同様に、ダイアログボックスを表示して印刷をしたい場合は次の様に記述します。

```
Sub PrintSample()  
    Application.Dialogs(xlDialogPrint).Show  
End Sub
```

(3) 印刷プレビューを表示する

ツールバーの「印刷プレビュー」ボタンをクリックするのと同様に、印刷プレビューを表示して印刷をしたい場合は次の様に記述します。

```
Sub PrintSample()  
    Worksheets("Sheet1").PrintPreview  
End Sub
```

2 . 印刷前に行うべきこと

(1) 印刷範囲の指定

印刷対象とするセル範囲を指定する場合は、次のように記述します。以下の例ではワークシート"Sheet1"の印刷対象範囲を A1 ~ E20 としています。

```
Sub PrintSample()  
    Worksheets("Sheet1").Select  
    ActiveSheet.PageSetup.Printarea = "$A$1:$E$20"  
End Sub
```

(2) 用紙サイズと向きの指定

用紙サイズを指定する場合は以下のように記述します。以下の例では A4 縦に設定しています。用紙の向きは「Orientation」で指定し、縦は「xlPortrait」、横は「xlLandscape」とします。

```
Sub PrintSample()  
    Worksheets("Sheet1").Select  
    With ActiveSheet.PageSetup  
        .PaperSize = xlPaperA4  
        .Orientation = xlPortrait  
    End With  
End Sub
```

(3) 縮尺の指定

広いセル範囲を 1 ページに収まるように印刷したい場合は、以下のように記述します。

```
Sub PrintSample()  
    Worksheets("Sheet1").Select  
    With ActiveSheet.PageSetup  
        .FitToPagesWide = 1  
        .FitToPagesTall = 1  
        .Zoom = False  
    End With  
End Sub
```

なお、ここで使用している「With」～「End With」は、処理対象の記述を解りやすくするためのものであり、次のように記述しても同じです。

```
ActiveSheet.PageSetup.FitToPagesWide = 1  
ActiveSheet.PageSetup.FitToPagesTall = 1  
ActiveSheet.PageSetup.Zoom = False
```

今回は印刷を制御するマクロの記述を紹介しました。実際にはもっと多くの項目を制御することができますが、全てを覚えることは現実的ではありませんので、できるだけ「マクロの自動記録」の機能を使って、必要な設定を行い、それがどのようにマクロとして記述されるかを見る（またはコピー＆ペーストで利用する）方法をおすすめします。